

フィリピンの臨床検査品質保証評議会で災害対応について講演しました(2013/10/1)

場所：Crowne Plaza Manila Galleria (マニラ)
テーマ：「災害対応セミナー」

10月1日(水)にマニラを訪問し、フィリピン臨床検査品質保証評議会の災害対応セミナーにおいて江川新一教授が、「広域大規模災害における医療対応：日本の経験」について講演しました。過去の繰り返し訪れる災害によりわが国の災害医療体制が整備されていたこと、東日本大震災で対応できたこと、できなかったこと、今後の予想される大災害に対する災害医療の取組を紹介しました。とくに東北大学病院の臨床検査部が受けた被害と対応、今後の災害に備えた臨床検査部の事業継続計画(Business Continuity Plan: BCP)を作成していることについて講演しました。

災害科学国際研究所からは災害感染症学の服部俊夫教授が災害に関連する感染症とヒューマンセキュリティについて、病態臓器構築研究分野の福本学教授が福島第一原子力発電所の放射性物質の飛散状況について講演しました。フィリピン厚生省の健康危機管理、リスクマネジメント、安全な病院、大規模災害における医療対応、バイオリスク管理、SPEED システム(災害後の健康サーベイランス)についての講演があり、災害について危機意識が高まっていることがうかがえました。



講演後に



セミナー聴講者

文責：江川新一（災害医学研究部門）